

令和４年度木更津市社会教育委員会議第３回定例会 会議録

１ 会議名 令和４年度木更津市社会教育委員会議第３回定例会

２ 開催日時 令和４年１２月１６日（金）午後２時～４時

３ 開催場所 木更津市役所朝日庁舎 会議室Ａ１・Ａ２

４ 出席者名

委員：石渡勇斗、吉田信明、佐久間智之、鶴岡久美子、千代倉順、
鶴岡俊之、吉田裕子、伊藤素子、佐々木洋子、地曳昭裕、
石村比呂美、熊本秀樹、白石和義（１３名）

事務局：廣部昌弘教育長、秋元淳教育部長、重城秋子教育部次長、
鈴木和代生涯学習課長、鈴木玲子係長、石川浩美主任主事、
地曳由起会計年度任用職員（７名）

協議事項（３）説明のため出席

小高幸男文化課長、松井 晋図書館長、稲葉昭智郷土博物館金のすず副館長、
水越学中央公民館長

５．協議事項

（１）各種審議会・協議会報告について

（２）第５７回千葉県社会教育振興大会及び第５３回関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会について

（３）協議「社会教育施設のあり方について」

（４）その他

６ 会議の公開・非公開の別及び傍聴人の数 公開・傍聴人０名

７ 資 料

令和４年度社会教育委員会議第３回定例会次第

社会教育委員会議の協議内容について（とりまとめ）

中央公民館利用者アンケート

【概要版】新木更津市立図書館整備計画（素案）

新木更津市立図書館整備計画（素案）

【概要版】木更津飛行場周辺まちづくり基本構想

木更津飛行場周辺まちづくり基本構想

8 会議の内容

事務局 ただいまより令和4年度木更津市社会教育委員会第3回定例会を開催いたします。

委員18名中10名着席されており3名遅れて到着予定ですので、本日の出席は13名となり欠席は5名であります。従いまして、社会教育委員会運営規則第3条第2項の規定により委員の2分の1以上の出席がございしますので会議は成立しております。なお、本会議は木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されております。本日の傍聴人はおりません。本日所用により、内田議長欠席ですので、白石副議長からご挨拶をいただきます。

白石副議長 皆さんこんにちは。いつもですと内田議長が進行しておりますが、本日所用のため欠席しております。また安藤副議長も所用にて本日欠席ですので、僭越ながら私が本日の会議を進行していきたいと思ひます、よろしくお願ひいたします。また初めてですのでいろいろ不手際等あるかと思ひますが、一生懸命議事進行を努めて参りますので、皆さんご理解・ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

事務局 ありがとうございます。続きまして、廣部教育長よりご挨拶申し上げます。

廣部教育長 皆さんこんにちは。本日はご多用の中、令和4年度社会教育委員会第3回定例会へご出席いただきまして誠にありがとうございます。

早いもので今年も残り半月になりました。先月11月は文化の月ということで、様々な事業を展開してまいりました。例えば特別展「江戸絵画の美」には1,238名にご来館をいただきました。また、木更津港地区アートプロジェクト、みなとぐちアートウィークには10,057人、延べ人数ではありますが1万人を超える方々にご参加をいただきました。他にも少年少女の主張大会、日本ユネスコ運動大会in木更津等々、多くの行事が催されるようになりました。新型コロナウイルス第8波ということで、まだ広がりを見せておりますが、できることとできないことがはっきりしてきたように思ひます。行事の際は、感染対策など十分注意をしながら開催をして参りたいと思ひます。

そんな中、昨日旧富岡小学校跡地にできたエトワ木更津というグランピング施設のオープニングセレモニーが行われました。本日オープンで12月中はほぼ満室と聞いています。手前みそになりますが、旧富岡小学校は私の母校でもあります。学校教育課長時代に自分の母校を統合したということで、私は地元では大変評判が悪い人間なのですが、オープニングセレモニーに参加してまいりました。先輩方がたくさんいらっしやっていまし

たが、私より若い人がいないことを痛感いたしました。私は 63 歳になりますけども、40 代 50 代の若い世代がほとんど見当たりませんでした。

旧富岡小学校は、現時点で木更津市内唯一統合をした小学校です。まちづくり協議会等の活動によって各地域が活性化する上で、小学校の存続は欠かすことができないものだという考えとなり、現在は市長の考えもあって小規模であっても小学校はなくさないという方針となってきました。本年度から特認校対象者にスクールバスを出しています。4 月にスタートをして当初利用者は 31 名だったのですが、年度内 11 月末時点で利用者 40 名と増えてきております。このようなことから、地域が活性化してくれれば嬉しいなと考えています。

そんな中、本日の議題にもなっております社会教育施設のあり方についていろいろとすることがございました。これから吾妻公園に複合施設もでき、新しい時代に入ってくるということで、若い世代と社会教育施設をいかにつないでいくのかということが、今後大きな課題になると感じています。昨日富岡の方に行き、現在頻繁に公民館を利用している、私や私より上の世代がいなくなってしまうたら、本当に利用者が少なくなってしまうのではないかと思います。次の世代、具体的には現時点で 20 歳代 30 歳代 40 歳代の人たちに、どうやって利用していただくのかというのはすごく大きな課題です。まちづくり協議会についても、いずれ次の世代に引き継ぐ時が来ると思うのですが、その辺の引き継ぎをスムーズにやっていくのも、非常に難しいのではないかと改めて感じています。そんな中、本日、社会教育施設のあり方をテーマに、ご意見や日頃お考えになっていることをお聞かせいただいて、施策に反映して参りたいと考えています。

最後に一つ紹介なのですが、机上に西上総の松下村塾カレンダーを置かせていただきました。偶然ではありますが、こちらの写真は、昨日まさにエトワ木更津がオープンした旧富岡小学校です。写楽館の野口観光協会長が富岡地区に非常に興味を持ってくださっていて、ここに明治時代に教撰塾という塾がございました。この塾は、日本を動かすほどの偉人がたくさん卒業しているという話です。

全小中学校と社会教育委員の皆様方と公民館の関係等々に配布をして、富岡を盛り上げていきたい、富来田地区を盛り上げていきたいなあと考えていますのでよろしくお願いいたします。エトワ木更津、昼間は宿泊者以外も利用できます、カフェ等もありましたので、ぜひお近くにお越しの際はお立ち寄りいただければと思います。

最後に、本日、社会教育委員会議ということで忌憚のないご意見を頂戴できれば大変ありがたいと思います。よろしくお願いします。

- 事務局 ありがとうございます。ではまず先に資料「To. Ko. To. N かずさ」をお持ちいただいた石村委員、お願いいたします。
- 石村委員 皆さんこんにちは、石村でございます。ちょうど昨日これができ上がってきたのでお持ちしました。
- 現在私どもは少年少女の主張大会の子供たちの作文を、12 月 1 日から 12 月末まで、毎日 17 時 20 分から放送しています。また、木更津市では 11 月 11 日～17 日まで国税庁が主催した「税を考える週間」に因み、毎年様々な啓もう活動を行っていますが、この上総 4 市で、税務署長賞などを受賞した子供たちの作文も、こちらに掲載させていただきました。また機会がありましたら、少年少女の主張大会の皆さんの作文も「To. Ko. To. N かずさ」に載せさせていただきたいなと思っております。現在の子供たちの放送が終わりましたら、毎年のように CD にいたしまして、皆さんにお配りしたいと思っております。先だって「うちの孫はいつ放送するのか」という問い合わせがありました。私たちも放送することを楽しみにしております。
- 事務局 ありがとうございます。続きまして子どもまつり写真集について、伊藤委員お願いいたします。
- 伊藤委員 こんにちは、伊藤です。11 月 19 日に開催いたしました第 19 回木更津子どもまつりの様子を、写真報告集としてご用意させていただきました。およそ 1 万人の来場者・参加者を募って、10 時から 14 時までたっぷり楽しめるお祭りが開催できたことを、ここにご報告させていただきます。
- 事務局 では会議に入っていきたいと思います。会議の進行につきましては、木更津市社会教育委員会会議運営規則第 2 条の第 4 項、及び第 5 項によりまして、白石副議長をお願いいたします。
- 白石副議長 それでは皆さん、次第に基づいて進めていきたいと思います。まず協議事項（1）各種審議会、協議会での報告です。各審議会、協議会に委員としてご出席いただいている皆さんから、報告事項があればよろしくお願いします。木更津市図書館協議会に出席された方、お願いします。
- 伊藤委員 11 月に行われた協議会に私は出席できなかったのですが、先日社会教育委員会議でお話された新木更津市立図書館整備計画について協議したと聞いております。また 9 月から休館をしていましたが、今月から予約が再開されたと伺っております。
- 白石副議長 ありがとうございます。続きまして協議事項第 2 項について、第 57 回千葉県社会教育振興大会及び第 53 回関東甲信越静社会教育大会研究大会山梨大会について、参加しました事務局職員より報告をお願いいたします。
- 事務局 令和 4 年 10 月 20 日木曜日に千葉県総合教育センターにて開催された第

57 回千葉県社会教育振興大会へ、内田議長と石村委員、安藤委員とともに参加しました。まず大会が始まる前に「社会変化に対応した生涯学習の推進」をテーマに、放送大学副学長吉川律子さんによる社会教育専門講座がありました。その後、大会にうつり、千葉県社会教育委員連絡協議会表彰が行われ、内田議長及び石村委員が表彰されました。そして午後は、睦沢町の学校支援ボランティア活動、勝浦市の地域学校協働活動事業の取り組み、館山市の放課後子供教室について、実践発表がありまして、そのあと三つの分科会に分かれて意見交換を行い、市町村の社会教育委員の動きを聞くことができました。コロナを経て変わってきていること、社会教育委員としてできることなどの情報交換を行いました。

続きまして、第 53 回関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会ですが、こちらは 11 月 11 日に、君津地方社会教育委員連絡会から会長と 3 名の副会長、富津の理事、4 市の事務局職員で、分科会に参加しました。木更津市からは、内田議長と私が参加しました。山梨までのバスの中では、1 日目の全体会の動画を視聴し、元ソフトボール女子日本代表の監督宇津木麗華さんによる「夢の実現～努力は裏切らない～」の記念講演、そして「新たな生活環境の中での社会教育のあり方を考える」をテーマとしたシンポジウムを映像から多くのことを学びました。また参加した分科会ですが、「つながりを基盤としたこれからの社会教育」をテーマに、栃木県鹿沼市社会教育委員会からの発表を聞きました。放課後子供教室の新規開設に向けて、社会教育委員として関わる中で見えてきた課題や、今後どのような事業であるべきかについて協議を重ね、地域の子供たちや大人にとって、互いにより学びの機会となった取り組みについてのお話でした。その方自らが地域の子育て環境を整える活動をしているので、実践に基づいた力強い発言が多かったです。その後グループ討議をし、人との繋がりを苦手とする人もいる中でこれからの社会づくりをどうしていくべきか、という議論をしました。内田議長においては、「魅力ある地域づくりの実現」の分科会に参加しまして、結城市社会教育委員自主研修会の取り組みについての発表を聞きました。市内の小学生から、歩いて行ける図書館が欲しいという要望が多くあって、地域の課題として、社会教育委員による結城図書館事業、図書館体験ツアーへの関わりと自主研修会の取り組みを学んできたという発表でした。会場がちょうど山梨県立図書館で行われておりましたので、木更津の新図書館をイメージしながら参加できたという感想をいただきました。

白石副議長

ありがとうございました。この件について皆さんご意見ご質問等ある方はお願いいたします。ないようでしたら、次に進めます。

次協議事項３、社会教育施設のあり方について、です。事務局より協議の進め方について説明をお願いいたします。

事務局

木更津市では、現在新木更津市立図書館整備計画及び木更津飛行場周辺まちづくり基本計画の策定にあたり、参考とするため市民の皆さんからのご意見を募集しているところです。委員の皆様には、図書館整備計画は事前に郵送させていただきましたが、木更津飛行場周辺まちづくり基本計画については、机の上に置かせていただきました。これらを踏まえまして、「社会教育施設のあり方について」協議をしていきたいと思います。

まず初めに、事前に郵送してあります図書館整備計画にご意見、ご感想などを出していただきます。本日配布した「木更津飛行場周辺まちづくり基本計画」もご参照いただきながら、前回臨時会で提示した図書館整備計画の内容に加えて、アンケート結果など、少し内容を追加した部分もございます。ご覧いただきながらご意見を頂戴したいと考えています。

その後今度文化複合施設に建設予定とされている公民館について、ご意見をいただきたく存じます。新中央公民館に希望することや、現状の公民館の課題などお気づきの点を出していただければと思っています。本日の資料に委員の皆様から、今年の初めにいただいた意見を抜粋したものを添付しました。中央公民館の利用者アンケートも配布しましたので、参考にいただければと思います。

その後、時間にもよりますが、博物館のあり方を協議いたします。新木更津市立図書館整備計画に表記してありますけれども、郷土史に関することを新図書館のコンセプトの一つにさせていただいております。新図書館、新中央公民館とともに、博物館の発展も取り組んでいくこととなりますので、現状感じていることでも構いません、課題や期待することなどをお聞かせいただければと思います。

白石副議長

ありがとうございました。では３項目ありますが、最初に、新木更津市立図書館整備計画について、ご意見ご感想などを出していただければと思います。石渡委員、お願いいたします。

石渡委員

11月の定例会の協議で「もっと利用したくなる図書館はどういうものか」という視点で、学校との連携や、カフェについて意見が出ました。この13ページの1番下のグラフで見ると、1位に「本が充実している」2位に「広くて十分な駐車場がある」が約半数近く要望・期待となっています。複合施設とするにしても、完成後に図書購入予算を潤沢に確保すること、駐車場については広いスペースを用意することが、より利用しやすい点になると思います。ぜひそのところは、お願いしたいと思います。

白石副議長

石渡委員ありがとうございました。次に吉田（信）委員、お願いします。

吉田（信）委員 自分が高校教諭なので、高校生がどうしたら利用するのかということをお話させていただきますと、やはり本や資料が充実しているということが、一番重要だと思いますので、より整えていただければと思います。

白石副議長 吉田（信）委員ありがとうございました。佐久間委員、お願いします。

佐久間委員 この前たまたま富来田公民館に行ったら資料を撤去というか改修作業をしていたようでした。公民館の図書室はなくなって、吾妻公園に建てる新図書館１ヶ所に図書を集中してしまう予定になっているのでしょうか。今まで富来田公民館の図書室には大体１万冊ぐらい図書が置いてあったかと思うのですが、図書室がなくなってしまうと、富来田から木更津市内まで出るのが結構大変な方もいらっしゃるかと思いますので、その辺のお考えがあれば、伺いたいと思います。

白石副議長 生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長 この計画の中でも若干触れておりますが、市の中央にきちんとした図書館が必要なのですが、そんなに大きい規模は難しいかと思しますので、市内全域のネットワークがさらに必要になってくるのではないかと考えております。今公民館に図書室がございますけども、きちんとネットワーク化し、学校の図書館や清和大学の図書館など市内のいろいろな場所で図書が返せたり、借りられたりというサービスも必要なことではないかと考えております。

白石副議長 ありがとうございます。ということは今ある公民館図書室は継続ですね。佐久間委員、よろしいでしょうか。

佐久間委員 ありがとうございます。

白石副議長 では続きまして鶴岡（久）委員、お願いいたします。

鶴岡（久）委員 高校が駅の東口側にあるので、高校生がその吾妻の新図書館を使うとなると、不便ではないかと懸念するところです。それと、中央公民館やみらいラボで、机がいっぱい並んでいて、そこで自習している学生さん、お子さんがたくさんいらっしゃいます。図書館でも、そういう学生さん、お子さんがいらっしゃるの、自習するスペースが図書館に設備されるのかという点をお聞きします。

白石副議長 ありがとうございます。では生涯学習課長、お願いいたします。

生涯学習課長 ありがとうございます。吾妻にできる複合施設につきましては、後ほど説明しますが、おっしゃるように、駅から少し遠く、今の図書館よりも遠くなるので、足の確保という意味で、おそらくバスを巡回させるとか、そういったことは考えられていくのではないかと考えています。また、学習スペース、自習スペースなどについても、何らかの形で検討はされと考えております。

- 鶴岡（久）委員 ありがとうございます。
- 白石副議長 補足ですが、「木更津飛行場周辺まちづくり基本計画」の策定に向けた住民説明会が木更津市ホームページにありまして、その中で「新木更津市立図書館を車以外で利用する場合、アクセスについては、イオンタウン株式会社が運行する巡回バスを検討している」と載っておりますのでお伝えします。鶴岡（久）委員、ありがとうございました。では続きまして千代倉委員、お願いします。
- 千代倉委員 中央公民館の玄関前に自習スペースがありますが、所管はどこですか。私の推測ですが、駅前にあるからか、思いのほか多くの方に利用されていると感じました。学生さんは、例えば授業だとかアルバイトだとか、学校のカリキュラム、部活だとか、いろんなスケジュールの空き時間を使って勉強している方が多いのではないかと思います。図書館にそういうスペースがあるのもいいですが、今度駅前に市役所庁舎を建て替えるという話がありますし、そのような施設を駅周辺に置くこと等は検討されていますか。
- 白石副議長 中央公民館長、お願いします。
- 中央公民館長 私どもの方では、詳細はまだわからないのですが、今度新しくできる庁舎の中に、フリースペース、いわゆる今中央公民館にある自主＆ワークスペースをさらに拡大したものを作るという話も聞いております。
- 千代倉委員 ありがとうございます。もしそうすると、同じようなターゲットの施設を大規模に複数作るということになり、逆に、税金の無駄遣いという感じがします。違うターゲットの人たち用の学習スペースを考えた方が利用される市民は増えるだろうし、施設の満足度は上がるのではないかと思います。ただ単純に、勉強できるスペースと定義づけるのではなく、ざっくり自由に使える空間としておくと、今後詳細を詰める中で、自由度は上がるのではないかと思います。
- 白石副議長 千代倉委員、ありがとうございます。西口の再開発の話はまた別の機会でご話したいと思います。千代倉委員、ありがとうございました。では続きまして鶴岡（俊）委員お願いします。
- 鶴岡（俊）委員 私はこの資料の 22 ページにございます、郷土・地元を誇りを持てる、郷土愛を育むようなスペースが新たに作られるということで、非常にその部分について期待をしております。さらに 23 ページのデジタルライブラリーも使い易いものができて、郷土の出来事や偉人や、資料を効率的に調べることができるようになることを非常に楽しみにしております。それこそ教育長がご紹介いただいたような観光協会のカレンダーを拝見しても、恥ずかしながら誰 1 人、存じ上げなかった方々ばかりなので、今回これを機に勉強したいと思いますし、そういった郷土愛を育む一つの施設になるこ

とを期待しています。しかし 15 ページの既存図書館利用者からの要望・期待というグラフを見ると、郷土に関する要望は少なく、「地域の情報が集約されている」という項目だけになります。この地域の情報というのが今の地域の情報なのか、それとも昔の情報なのかは分かりませんが、なかなか郷土の歴史等には興味・関心が向きにくいのかなと感じます。逆にそういったものを新たに育むことが出来るような施設になることを、非常に期待しております。それと最後に、25 ページを見ると郷土資料室が現状の大きさよりも、少し小さくなっているのが気にかかります。スペースの大きさだけが問題ではありませんし、用途や区分の問題でそう表記されているのかもしれませんが、その辺りの理由を伺えればと思います。

生涯学習課長

現在の図書館は2階のほとんどが郷土スペースとなっております。資料を置いている部分や閲覧場所、あと調査用のスペースということで、広く場所を取っています。新図書館については、郷土資料室の面積としては数字的には少なくなりますが、デジタルライブラリーやその他の「郷土の情報の発信」を行う部分も郷土に関するスペースとなりますので、郷土資料室の面積の数字よりも、もう少し広がるイメージで見ていただければと思います。

鶴岡（俊）委員

ありがとうございます。数字だけでは把握できないということですね。楽しみにしています。

白石副議長

鶴岡（俊）委員ありがとうございました。熊本委員、お願いいたします。

熊本委員

図書館の関係資料を見せていただきました。図書館へのいろいろなニーズに対し、いろいろなメニューがあるのですが、木更津にこんな図書館ができたのか！というような特色ある図書館を目指したいと思いますが、なかなか良い案が浮かびません。

例えば先ほど、郷土の話が出ていましたが、木更津の図書館は地元の情報がたくさんあるらしいよ、などちょっとした特徴を出すと皆さんの関心が増えてくるのかと思いました。

もう一つは、職員についてです。今も図書館でいろいろお尋ねすれば教えていただけること、また、その担当の方もいらっしゃると書いてありましたが、もうちょっと図書館を使う人たちが、何でも聞けるようなスペシヤルな人がいるといいなと思います。そういう人が、いつも図書館の中にいると、もっと親しみやすい図書館になるのではないかと思います。

白石副議長

ありがとうございます。では続きまして石村委員、よろしく願いします。

石村委員

先ほど教育長が、いかに若い世代の方々に利用してもらえるか、利用促進を図れるかが重要だとおっしゃっていたのですが、その通りだと思います。

す。21 ページにすごくいいことが書いてありまして、くつろいで長時間過ごせる空間とするためカフェテリアを確保する。中高生向けの資料を備えたティーンズコーナーを設置して、周辺には1人での学習や、2人から3人程度のグループ学習ができる学習室や席を配置するというような方向性も書かれていて素晴らしいと思いました。ですが車を使わない人や高校生が、果たして循環バスを使ってまでそこへ行って、それを利用するだろうかとも思います。それがすごく便利なバスであればよいのですが、今駅前のみらいラボは高校生がいっぱいいて学習をしています。きっとそれは位置的にも活用するのに便利だし、帰るにも安心だからじゃないかと思っています。そうすると、交通手段というのは大きなポイントになってくるのではないかと思います。

また新図書館は、木更津市のセンター的な図書館だと、公民館の中の図書室などの普段使いができるものと、専門性の高い図書館が一つの総括的な図書館になってしまうと、どちらの機能も中途半端になってしまうのではないかと心配しています。蔵書が専門的で、内容が充実している図書館は、やはりいつも使っている方々にとってはすごく重要な場所だと思うのですが、日々学習をしたり、ちょっとわからないことを聞いたりする、という図書館とはまた違うのかもしれないなあと思いながらお話を聞いておりました。私も前回の会議には最後の方だけしか出席できませんでしたので、的が外れてしまうかもしれませんが、そんな感想を持ちました。

白石副議長
地曳委員

石村委員ありがとうございました。地曳委員、お願いいたします。

今日は施設を中心に考えるということですが、施設だけでなく人材・スタッフの充実も大変重要だと考えています。皆さんおっしゃっていましたが、木更津市らしいオリジナリティーのある図書館を望んでいると思うのですが、そのためには職員が定住人口を増やして木更津をどんどん発展させて、大きな魅力のある市にする、という目標を持って活動すれば、いろいろなものが解決できるのではないかと期待しているところです。具体的なことは考えている最中ですが、とりあえずその気持ちが大事だと思っています。

白石副議長
佐々木委員

地曳委員、ありがとうございました。佐々木委員、お願いいたします。

先ほど公民館の図書室も、これまで通りというお話でした。図書館にまだなかなか行けない方たちもたくさんいらっしゃると思うのですが、そういう人たちが公民館にない本を借りたい場合、図書館から公民館に本を借りたりとかはできるのでしょうか？「市内全域のネットワーク」というのは、そういう形で活用できるということなのか伺います。

白石副議長

図書館長、お願いします。

- 図書館長 公民館に用意をしてない図書につきましては現在、公民館の窓口で予約をしていただければ、その本を図書館で用意して公民館に持っていき、予約した方が公民館に来ていただいて、借りていただくという形になっております。
- 佐々木委員 ありがとうございます。それと、新しい新木更津図書館のことですが、先ほどから出ているように、やっぱりアクセスがとても重要ではないかと思います。吾妻は駅から歩くにはちょっと遠いので、先ほどバスの巡回という話もありましたが、これは絶対必要ではないかと感じました。あと現在の図書館もいつも車が混んでいて、十分なスペースがないと思います。新しい図書館は、今の図書館の駐車場の何倍ぐらいの広さなのかお伺いしたいと思います。
- 生涯学習課長 今まちづくり基本計画にイメージ図が掲載されていると思います。複合施設に含まれる図書館、ホール、公民館等の利用を踏まえ、500 台程度を想定しています。付近に公園施設もできますので、必ずしも図書館専門の駐車場とは言えないのですが、今よりは停め易くなるのではないかと推測されます。
- 佐々木委員 ありがとうございます。
- 白石副議長 では続きまして伊藤委員をお願いします。
- 伊藤委員 すでに何人かの方から出ているお話ですが、「歩いて通える図書館」、「図書館の若者の利用の促進」についてお話させていただきます。18 ページに浦安市立図書館の事例が載っていますが、浦安市では全体の貸出の 6 割程度が図書館分館での貸出だと書かれています。木更津市では公民館の図書室は引き続き使っていくということですが、図書館の分館機能を向上させていくことは、公民館の利用を上げるという意味でもとても重要なのではないかと、お話を伺いながら私自身も感じました。その地域に本当に合わせた図書室を作れば、自然と子供が多い地域の公民館の図書室は子供の本が必然的に増えるだろうし、高校に近いところの公民館の図書室は高校生が利用しやすいスペースになるだろうと思います。木更津市の強みとして、公民館が市内全域に設置されていることを、今からでもすぐに活かしているのではないかと思います。その分、蔵書数を増やす必要があるでしょうから、新しい図書館に望むものは本の充実になるのかと感じました。
- 白石副議長 ありがとうございます。こういうスタンスであれば、現状でもいけるような気がします。続きまして、吉田（裕）委員をお願いします。
- 吉田（裕）委員 私ら公民館の図書室については、知名度が低いことが一番の問題なのかなと感じます。「図書館どこにあるの」と若いお母さんたちに聞かれる時もあるので、以前より PR をどうすればいいのかとも思っています。例

えば公民館で、図書館で実施している読み聞かせなどの講座や、幼児教室等があるときに図書館に来ていただいての読み聞かせや、本の紹介や公民館でも本を借りられるんだよ、といったPRを行い、保護者や市民の方に知っていただく機会をつくるといいのではと思います。

図書カードは図書館でしか作れないのでしょうか。公民館窓口でも作れるのか、お聞きしたいと思います。

また若者をはじめとしたいろいろな方の居場所と交流の拠点にしたいという点に関しては、暗いところで本を読むよりはオープンカフェ、オープンスペースなどの明るい開放的な空間があったら良いと感じております。

また先ほどいろんな委員からもご意見ありましたけれども、交通の便について、車を持っていない方・学生などは、利用するにあたって交通がネックになってしまうのではないかという懸念が挙げられていました。巡回のバスが出るとか対策がされる予定だと聞きましたので、そういう便利なことを、いかに知ってもらうか、課題であると思います。

白石副議長

ありがとうございます。それでは質問のありました図書カードの発行についてよろしくお願いします。

図書館長

図書館カードの発行ですが、各公民館でも公民館職員にお願いしております、できる形になっております。

白石副議長

先ほど図書館のPR不足との指摘がありました。私もちょっと知らないのですが、図書館のイベントがある場合の周知方法として、広報きさらづとかに載せるのでしょうか。

図書館長

PRに関しては、広報きさらづの紙面にて「図書館だより」を毎月掲載し、図書館からの連絡やイベントの予定を載せております。市のホームページにも掲載してPRをしているところです。

各公民館との連携については、今、図書館工事中のため、先日もお隣の文京公民館からの依頼を受けまして、木更津第二小学校のお子さんたちを対象とした読み聞かせお話を開催しました。公民館から依頼があった場合は、図書館司書が出向きまして、読み聞かせ等イベントもやっております。市内各保育園も、依頼があれば図書館司書が出向きまして、読み聞かせ等を行っているところでございます。

白石副議長

図書館長ありがとうございます。

皆さん、ご意見をいただきありがとうございます。他にも意見があるようでしたら挙手いただければと思います。

それでは、図書館に関する協議について、貴重なご意見ありがとうございました。

では次の協議、現在の公民館の課題や、新公民館への希望などについて、

意見を伺いたいと思います。公民館については建設までまだ日があります。今後詳細を詰めていくそうですので、また皆さんにご意見いただければと思います。それでは、石渡委員から一言ずついただければと思います。

石渡委員

中央公民館は複合施設に入ることになっているようですが、既存の他の公民館については、今後どのようにお考えになっているのかをお聞きしたいです。具体的に申し上げますと、例えば高柳小学校の学区にある岩根公民館は、かなり老朽化も進んでいるように見受けられますし、駐車場等も離れた場所にあつて非常に使い勝手が悪いです。岩根公民館は市内でもかなり古い公民館だと聞きました。岩根公民館に限らず、今ある公民館施設について、今後例えば改築や立て直し等の予定があるのかというところをお聞かせ願えればと思います。

生涯学習課長

公民館にかかわらず、市の上位計画で、公共施設再配置計画というのがございまして、その中で公民館については、統廃合していくというようなことも書かれてはいるのですが、今後またいろいろな検討の中で、関係部署と相談をしながら決めていくことになるかと思います。老朽化している公民館につきましては、今年度、文部科学省から長寿命化計画について調査をするようにという指示があり、ちょうど調査をしているところでございます。今後、再配置計画、長寿命化計画などといったことも加味しながら、総合的に判断して考えていくということになるかと思います。

石渡委員

ありがとうございます。先ほどのまちづくり協議会とか、その地域に根差すということを考えると、具体的に岩根公民館については、若者が近寄り難い、なかなか利用しづらいのではないかと思います。お年寄りの方も、土足可になっているとはいえ、施設が古いので階段やトイレ等使いづらいのではという部分があります。今話に出た計画の中で、再配置というか、改築等含めて、お考えいただければと思います。

白石副議長

石渡委員、ありがとうございました。

吉田（信）委員

公民館は図書館以上に地域に根差しているものだと思います。そのため、より多機能化できればと思います。高校生にとって、公民館は図書館以上に遠い存在に感じると思うので、例えば、教室や講座も高校生対象のものができればよいのではという気持ちがあります。

白石副議長

ありがとうございました。皆さん今の公民館の課題を言っていてはいるのですが、できれば新公民館への希望、次の中央公民館への希望などをいただけると助かります。佐久間委員、よろしく願いいたします。

佐久間委員

このアンケートはどういった理由でやったのでしょうか。定期的に行っているものなのか、それとも、今回施設を作るからやったものなのか。

生涯学習課長

アンケートは、中央公民館で7月に1ヶ月間かけて利用者にご協力いた

だいたいのものです。現在使用しているの課題や現状について、生の声を集めました。どのような公民館が望まれているのか把握した上で、複合施設への準備という目的があります。

佐久間委員

ありがとうございます。多分、幅広い世代に使ってもらいたいという意図があってアンケートを行ったのだと思うのですが、この利用者アンケートの回答結果の年齢を見ると、集まったのは普段使っている高齢者が中心の意見になっているのではないかと思います。今後、例えば 40 代やもっと若い人に使ってもらおうということになれば、利用者アンケートだけでなく、もっと幅広い対象へのアンケートを実施することも考えていただきたいです。例えば地域の方に無作為にやるとか、今利用をしていない層に対してどうしたら利用しますかとか、そういった形でアンケートを取っていないと、結局今利用をしている高齢者が利用するための公民館になっていってしまうのではないかと思います。さっき教育長のお話にもあった、若い人にどうやって利用してもらおうかという事になると、「若い人の意見」がここには反映されていないのではないかと疑問を抱きましたので、このアンケートには、普段公民館を利用しない若い人の意見を救い上げるような工夫なりが、本来必要だったんじゃないかなと思いました。

白石副議長

佐久間委員、ありがとうございました。では続きまして鶴岡（久）委員、お願いいたします。

鶴岡（久）委員

私も、アクセスの問題が気になりました。アンケートを見ると、女性の利用者が 71%、高齢者の 60 代 70 代の方が、合わせると 66%という結果なので、やはりそういう方達がどういう状態にあり、公民館までたどり着くか、ちょっと不安になりました。それと中央公民館というのは、中学生をターゲットにするのか、それとももっと大きい建物となって、木更津市全体の方をターゲットとしているのか、お伺いしたいです。白石副議長事務局、お願いいたします。

生涯学習課長

中央公民館につきましては、第 1 中学校区のための公民館という役割と、規模的に、市内の中心にある公民館という役割と、両方の公民館であると考えています。

鶴岡（久）委員

ありがとうございました。図書館と公民館が近くにできるということは、利用者にとってはいいのかなと思います。

白石副議長

続きまして千代倉委員お願いいたします。

千代倉委員

中央公民館の利用者アンケートですが、先ほど委員の方々から、市側が考えているほど多くの人の利用者の意見ではないアンケートなのではないかという発言がありました。現状公民館を利用しているのは、高齢者がかなり多いので、もしかすると交通弱者である可能性が高いのではないか

と推察されます。それで、木更津駅から吾妻まで、車で動く分にはそんな大した距離じゃないと言えなくもないのですが、それ以外の交通手段の方にとっては厳しいのではないかと思います。私も実際に、木更津市内とか近隣市に勤めていて、車で通勤している分にはさほど支障はないのですが、例えばＪＲですとか、高速バス等々で公共交通機関を使って通勤している人にとっては、おそらく利用できない施設になりうるのではと心配しています。仮に巡回バスを走らせたとしても、普通のサラリーマンが仕事終わってから行こうとする時間までは、巡回バスはまず動いてないだろうと思います。そうすると普通の 20 代～50 代の働き盛りの人は、近隣市に在勤在住の人などは平日は使えるけれども、それ以外に勤めている人たちは、本当に土日限定でしか使えなくなるのではないのでしょうか。そういった事情を踏まえ、ある程度それありきで考えたが良いのではないかと思います。皆さんウエルカムウエルカムと言っても、無理のある場所になってしまうので、そういうのをしっかり考えたほうがいいのではないかと思います。

鶴岡久美子委員も交通弱者の利用促進をどうするかという疑問をあげておられました。巡回バスの案がありましたが、それが 1 時間に一本の頻度や、それ使いづらいよねというような時間にしか走らなければ、あまり利用促進にはならないのかなと思います。その一方で、現在の主な利用者の年代の人たちは、多少時間的な余裕はあるのかなとも思います。ただ勤めてる人は、1 時間に一本では絶対使えません。そういった意味で、ただ巡回バスと言っても、本数というのはとても重要事項であろうと思います。交通弱者のため、また利用促進のためにも、巡回バスは少し多めに走らせたほうが良いと思います。

白石副議長

続きまして鶴岡（俊）委員、お願いいたします。

鶴岡（俊）委員

公民館につきましては、教育長が冒頭におっしゃられたように、若者がいかに公民館を利用するか、またまちづくりに関わってもらえるかというのが、長年議論の対象になっているけれども、なかなかうまい結論は出ていない状態です。

この新中央公民館につきましては、新しい建物ができ、中規模ホールやすてきな図書館も併設されとのこと。駐車場も広いのが作られ、そうすると土日祝日や、平日もお子さん連れの若い方々等の利用は増えるのではないかと期待をしております。その反面、先ほど千代倉委員がおっしゃったように、平日仕事をしている会社員の方々が、どのようにその公民館を利用してまちづくりに関わってもらえるか。今後も市内全公民館の課題として、考えていかなければならないと思っています。今、中央公民館長を中心に、様々な公民館事業を進めていただいておりますが、引き続きそ

のような努力は、全公民館に必要だろうと思います。その一方で、この中央公民館の利用者のアンケートを見ても一目瞭然ですが、今現在 70 歳代前後の方々の利用者が圧倒的に多いということが分かります。先程、中央公民館は一中学区の公民館でもあり、市全体の公民館でもあると事務局からお話がありました。それはもちろんそうなのですが、やはり公民館というのはその地域の核であると、我々も常日頃考えておりますので、特に今現在利用している高齢者の方々が、引き続き新公民館を利用できるような配慮をぜひしていただきたいと思っております。公民館に関しては有料化やコロナの影響で、サークル数が減ったとか利用者数も減ってしまった、サークルも辞めてしまったというような声も聞く中で、少なくとも中央公民館が移転した時に、今利用されている地元の高齢の方々のサークルが減ったり利用者が減る等ということになるとすごく残念なので、特に一中学区の利用者のことを考えていただくことがとても大事だと思います。

そのためにお願いになるのですが、ぜひその公民館の事業運営は、直営でやっていただきたいということを最後に述べさせていただきます。

白石副議長
熊本委員

続きまして、熊本委員、お願いいたします。

公民館をどのように使うかと考えてみると、アンケートを見ても、公民館を使う人はほとんど限られているのではないかという気がします。多くの人に来ていただくためにどうすればいいのかと考える反面、本当に多くの人が公民館に来たらワーワーと大騒ぎにのるのではないかとも思います。

ただ、年寄りばかりではなく、若い人たちにも来てもらうとなると、やはりそれなりの声かけや、学校で連れてきてもらう等の機会を設けるとか、そういうことも一つ必要だと思います。この前、中央公民館でイベントがあった際に、中央公民館長に誘われて行ったのですが、参加すると素晴らしかったと感じるのです。行ったら参加してよかったと感じるのですが、参加までのハードルが高いとも感じます。ですから、公民館の営業活動ではありませんが、若い人や学校の先生等に声をかけて、公民館で何かちょっとやってもらう機会を設けるのも良いのではないのでしょうか。

それともう一つは、公民館に行くと、誰か地域の人がいて、なにかちょっと声をかけてくれたりして、親しみがわいたりします。地域のいつも公民館を利用している人達の中で、そういうことができる人を選んでもらって、公民館に行くと、「よく来たね」や「今日は何だい」とか、ちょっと声をかけていただけるようなものも良いと思います。公民館が、地元の情報交換の場になるといいなとは思っています。人もちょっと役割分担みたいなことをすることで、面白いことができるのではないかと思います。

白石副議長
石村委員

それでは石村委員お願いいたします。

今更かもしれませんが、どうして高潮や津波等の時に、その浸水の想定区域になっているようなところに、この計画を作ってしまうのかなと思います。ましてや、基地が近くにあるのですから、やっぱり安全で安心して使えるだけの、しっかりとした担保は必要ではないかと、今更ながら感じています。そこに作るだけの理由があり、これからの方向性が何かあるのでしょうかから、そのあたりはしっかりと忘れずに作っていききたいというのが根底にあります。

それから今フェーズフリーという言葉に注目が集まっており、例えば防災であったら備えない防災、何か特別なことをしないというのが今の主流だと聞いています。これを今回の計画に移して考えてみると、公民館があつて、図書館があつてホールがある。ホールで何もやってないときはロビーには誰もいないみたいなことではなくて、お互いに利用し交流できるような、活用の仕方ができたらいいなあと思っています。

公民館・図書館・ホールそれぞれのためだけの設備ではなく、何かみんなで使えるようなものの方が便利だし、有効だし、安くつき、個々に揃えなくていいという形になるのではないかと思います。

白石副議長
地曳委員

続きまして地曳委員、お願いいたします。

基本的な質問で恐縮なのですが、吾妻公園にできる文化複合施設というのは、図書館と中規模ホール、中央公民館は同じ条件とイメージしてよろしいのでしょうか。同じ条件だとすると今、図書館が一生懸命に新図書館整備計画という形で、基本計画・基本構想をやっているのですが、当然それに伴う中央公民館や、中規模ホールの基本計画や基本構想というものはどうなっているのでしょうか。有効利用するための、施策とか方向性とかというのは、どのように検討しているのかお伺いしたいと思います。

白石副議長
生涯学習課長

事務局お願いします。

中規模ホールにつきましては、地曳委員もご参加されていたかと思いますが、数年前に中規模ホールの基本計画・基本構想はすでに作られております。それを基にして、こちらの中規模ホールについて検討していると伺っております。

複合施設全体につきましては、来年度、実施計画を立てるということで、その中で、中央公民館、図書館、ホールについても、検討されていくと思っております。

地曳委員

中規模ホール基本構想の時は、複合化というイメージじゃなくて、単体で建てるをイメージしていて。木更津市公共施設再配置計画の中で、ホールの複合化が位置付けされていたから、この三つの施設が複合されるとい

う話となり。気になっているのは、その時の話し合いは複合を前提としていなかった、そういう計画というのは、どなたがどこでどうやって、作られていくのでしょうか、というのが疑問です。

生涯学習課長 残念ながら、複合施設に関しては教育委員会が所管をしておらず、6月に策定された木更津飛行場周辺まちづくり基本構想の中で、その方向性を示しております。実際に所管している公共施設マネジメント課が、現在進めているというところです。その中で、複合施設についても、構想として上がってきているというところです。

地曳委員 もう一度復習すると、要するに公共施設マネジメント課が全体の複合施設を管理して、その中の図書館部門と公民館部門については、生涯学習課が所管していくということでしょうか。

生涯学習課長 今回作らせていただいた新木更津市立図書館整備計画につきましては、その複合施設の中の図書館を計画しているわけではなくて、今の図書館が抱えている課題も踏まえて、次に作る図書館について、こういうコンセプトでこういう機能を持ってこういう役割を持って、図書館を作っていきたいという教育委員会の方向性を示した計画です。複合施設の実施計画については来年度、所管が作るのですが、そこの計画にこの計画を反映してください、ということで、私たちは作っているというところです。ですので、複合施設そのもののなかでの、図書館や中央公民館のことを教育委員会で今何かやっているということではありません。

地曳委員 そういうことであれば、まだ時間はあるのではないかと感じました。

白石副議長 続きまして佐々木委員、お願いいたします。

佐々木委員 公民館の利用者の年齢の偏りが、すごく大きいということが気にかかります。子育て世代、お母さんがお子さんを連れてくるような、何か教室やイベント等が充実していれば足が向きやすいのかなと思います。例えば今、新しくわかば保育園に子育て支援センターができたので、お子さんを連れてお母さんたちがそこで遊んでコミュニケーションを取るということをしています。そういう所は、まだまだ数が少ないので、複合施設の話とは若干それてしまうかもしれませんが、公民館・図書館だけでなく、子育て支援センターや児童館等もまとまってあって、そこに小学生等が遊びに来て、公民館にも図書館にもいるというのが、日常の中で当たり前になって良いと感じます。しかし実際にそれを公民館でやるとなると、職員だけでやるというのは難しいでしょうから、外部の方達と連携をしていく必要があると思います。それは難しいことだと思うので、可能かどうかというのはおいておいても、子どもたちが集まれる何かが欲しいと感じます。

白石副議長 ありがとうございます。このアンケート結果を見ると、20代や子育て

世代の利用が少ないので、若い人だけでなく、子育て世代もイベントみたいな形で、子育て同士の人たちが集えるような、そういうこともやったらどうかということによろしいでしょうか。続きまして、伊藤委員、お願いいたします。

伊藤委員

私もアンケート結果の年代のお話しですが、それを見ると 40 歳代からの回答がありません。私はその 40 歳代なのですが、その自分の年代から、要求というリクエストをしたいことがあります。私は小学校、中学校、高校に子供がいるのですが、私は中央公民館に小さくても良いので、ホール機能があると良いと思っています。今回複合施設の話の中で、中規模ホールと一緒にできると言っているのかぶるように聞こえるかもしれませんが。しかし実は結構求められているのが、小さめのホールです。ピアノ教室の先生がちょっとお披露目の場にしたいとか、或いはかずさジュニアオーケストラさんにも知り合いがいるのですが、アンサンブルコンサートができる規模のホールが欲しいという話を耳にします。きさてらすにはあるのですが、そこがいっぱいで、もうどこもなく困っているといった話を聞きます。あとは中高生等も最近はとにかくバンドギターが好きです。その流行に乗じて、彼らが発表する小さな機会を設けてあげられるような場所、そういうものがあると、非常に父親母親世代は嬉しいと思います。そういう施設が低価格で借りられるというのが、きっと公民館ができることだと思うので、ぜひ検討いただきたいと思います。

白石副議長

違った視点でのご意見、ありがとうございます。中央公民館長お願いします。

中央公民館長

いろいろと公民館利用者の世代の話が出ておりましたので、参考になるかわかりませんが、今回の中央公民館の利用者アンケートについてお話ししたいと思います。これを見ますと、中央公民館の利用者が 60 代 70 代 80 代となっており、アンケートを取った方 113 名中、約 85%が高齢者ということがわかると思います。これはこれまでの公民館の歴史の中で、長い間ずっと利用を続けている方が今も利用し続けているということだと思うのですが、これは中央公民館だけではなく、他の公民館も、利用者が高齢化しているということは間違いのないと思います。

先ほど千代倉委員からも話があった自習＆ワークスペースですが、日中は確かに公民館に若い人たちが来るのが難しいのではないかとこの話は昔から出ています。ただ、今現在、今年の 4 月から 11 月までの中央公民館の利用者は 14723 人なのですが、そのうちの 81%が小学生、中学生、高校生、大学生となっております。ほぼ午後は満室になっていて、ずっと勉強をしています。若い人たちも、何か目的があれば来るということは、一応証明

されていると考えています。それをどうやって今度は公民館の中に入れていくかということが、これからの我々の課題でもあります。このアンケートにはもちろん入ってはいないのですが、利用するときにはいろいろ私の方で話を聞いてみました。もちろん勉強がしたいのですが、直接何人かに公民館の中に何があったら来る？と聞いてみました。一番多いのが、「公民館にダンスを踊れるようなスペースが欲しい」という意見です。今委員の方からお話がありましたけど、例えば音楽のできるスペースもです。どうしても公民館では学習活動をする部屋が多いので、そういった部屋が欲しいという声が一番出てるのかなと思います。

後、中央公民館に限らず他の公民館も含めて、体育施設がほしいとの意見も伺います。若い人たちに人気のバレーボールや、バスケットボール等を、ちょっと仲間で集まってやれるようなスペースが欲しいと言われます。公民館とは離れちゃうのかもしれませんが、以前旧中央公民館は三階に体育施設がありました。もちろん今の公民館でも、卓球くらいならできるのですが、もっと身体を動かせるものを希望しているのかなと感じます。

もしかすると、学習面だけではなく設備の関係でも、我々の考え方も少しチェンジをしていかないといけないのかもしれないかもしれません。今の20代30代40代は、おそらく年齢が上がっていても、体力的には若いままだと思うので、体を動かすような施設の整備が必要なのかなかもしれないと、私的には考えています。ただ、今現存の公民館の中ででき得ることも、最大限考えていく必要があるかなと思っております。

白石副議長

最後に吉田（裕）委員、よろしくお願いいたします。

吉田裕子委員

いろいろ皆さんのお話を、ああ確かにそれもそうだな、交通の便とかも大事よね、と聞いておりました。いろんな意見が上がっておりますが、私は反対にちょっと楽しみにしています。この複合施設の中にある公民館を、やっぱり市民にとって居心地の良い場所にしていただきたいというのが一番の希望です。例えば、今日もらった資料の中で13ページに、市民と自衛隊員が交流できる施設づくりと書いてあります。これは木更津市特有のもので、どんなことをしてもらえるかという期待感があります。新しい中央公民館に行った際に、公民館だけ行くのではなく、その下にある図書館にちょっと寄ってみようかなあとか、自衛隊の何か企画があるよとか、複合的に楽しんだり、有意義な時間を持てたらなと思います。そしてその中に、カフェスペースや交流スペースがあることによって、更に時間を有意義に取れる場所になって欲しいなと思っております。要望はいろいろとありますが、熊本委員がおっしゃっていたように、やっぱり人が大切だと思います。配置していただく職員も、施設面だけではなく、人的

白石副議長
教育長

なサービスも頑張っていっていただきたいなと思います。

ありがとうございました。教育長、よろしく願いいたします。

すいません。大変貴重なご意見ありがとうございました。大変参考になりました。今回の議題について、現在わかっている範囲で、ご紹介したいことと私が考えている現時点でのイメージをお伝えします。

最初に図書館についてですが、やはり読書というのはその地域の文化レベルとイコールだと考えていまして、市の魅力の重要な要因になるのではないかと思います。今全く本を読まない小中学生が約1割います。0を1にするというのは、非常に難しいことです。しかし今年ようやく予算がつきまして、小中学校の図書室をつなぐオンライン管理の準備に着手しているところです。木更津市というのは、県内でも屈指の文教都市です。高校が私立高校・公立高校で6校あり、木更津高専や清和大学もあります。清和大学・木更津高専とも連携協定を結んでおりますので、大学の図書館と高専の図書館と市立図書館が、ネットワークでつながっていきます。どうなっていくかはまだ未確定なところもありますが、将来的には小中学校・高等学校・公民館・市立図書館・清和大学・木更津高専の図書館を、一つのネットワークでつなげられればと考えています。市民の皆さんがこの本どこかにないかしらとインターネットで検索したときに、市内のここにあるから借りられるというように使えればいいなあと考えております。また木更津市の特徴として、市長のお考えもあって電子図書の充実を図っており、今確か12000冊程度利用できます。この辺を充実させていきたいと考えています。ぜひ新図書館ができると同時に、そのような輸送システムを含む補助のネットワークを充実させていければと考えています。

それと皆様が気にされていた、場所についてですが、現時点では吾妻公園となっており、金田地域のアウトレットやコストコからずっと来て、江川の競技場につながり、新野球場、新サッカー場ができて、陸上競技場もあって、吾妻にくると避難できる場所となっていて、話題となっている複合施設ができて、内港公園があって、木更津港のセントラルボートさんの前の港を県が埋め立ててくれて、ウォーターフロントの商業施設ができる、という構想になっています。鳥居崎にはもう店舗ができていますので、海岸線あたりがずっと交通渋滞も心配されてはいますが、湘南のようになるのではないかなという話です。そんな環境の中に複合施設ができると考えると、先ほど吉田（裕）委員もおっしゃっていただきましたように、公民館と図書館にホールがついているということは、私は、生涯学習の施設としては夢のある場所になるのではないかなと期待しております。

また、公民館については、若い人たちをいかに引き込んでいくのが問

題だと考えています。木更津市の100年後を見据えて、20年後の木更津市の人口がどうなっているのか。木更津市の人口については毎月発表されていますが、今のところは20人30人ではありますが微増をしています。増えているのは子育て世代と外国の方々です。このような状況なので、冒頭申し上げたまちづくり協議会の拠点は当然公民館になってくるのでしょうか、現在、まちづくり協議会は市民活動支援課の管轄で、公民館は教育委員会の管轄となっています。役所は縦割りだとよく言われますけれども、この辺も今後整理が必要でしょうし、地元の方々をまちづくり協議会にと考えた時に、例えば高校生や中学生に入ってもらおうとかいう発想もありなのかなと思います。やっぱり、まちづくり協議会の世代交代をどうしていくのかというのは、最初に申しあげました通りなのですが、各地域をどうやって整理していくのかというのは、非常に難しい問題となると思いますし、やっていかなければならないことでもあると、私は考えています。

今日皆様方から大変貴重なご意見を頂戴いたしました。様々なところで活用させていただきたいと思います。教育委員会として御礼申し上げます。また今後ともよろしくお願いいたします。

白石副議長

教育長、ありがとうございます。今後、公民館・ホール・図書館の複合施設が建てられていくと思います。皆さん、本当に夢のある初めての施策だと思います。また今後も意見できると思いますので、その時にはまたご協力いただき、貴重なご意見、アドバイス等いただければと思います。

それでは最後に博物館について協議となりますが、委員の方で何かご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。先月11月30日まで80周年記念事業特別展に取り組んでくれました。今日は金のすず副館長の方がお見えになっていますので、ご意見いただけたらお願いいたします。

金のすず副館長

コロナになって2年間、ちょうど休館していたのですが、昨年の7月からリニューアルオープンいたしております。平成30年までの大体の年間の入館者数は1万人ちょっと超えるぐらいでした。特別展・企画展をやる4月に来館者が増え、それ以外は少ないというところなんです。実際4月の花見の時期だと、平成24年は4月だけで3000人入館者がいました。ただ、今年は4月の時点で490人です。コロナの関係でかなり外出する人が少なくなっているように見受けられます。また、11月に特別展を実施いたしまして、その時は1200人ぐらいの来館がありました。それから9月と10月にかけてやはり1ヶ月ぐらい、県の巡回展をしておりますが、それも1000人以上入っております。ただ、それ以外については平年よりも少ないと感じております。

博物館について、本日の議題である社会教育施設のあり方ということでお話しさせていただきます。現在、定年を迎えて再任用等の形で働いている先輩職員が、半分の5割を占めております。現役というか、60歳以下が3人、卒業生の方が3人、合わせて6人。あと会計年度職員で受付の方が2人という体制でやっております。ただ、一番若い人間で40代なので、若い人が全然おりません。継続的な体制をとるためには、やはり年齢的なばらつきは必要ではないかと感じております。その辺については、今木更津市で業務の棚卸しとか検討してもらっておりますので、そういうものの中で検討していただければと思います。博物館から、次の世代を育てないといけませんので、なるべく若い人を希望しております。

白石副議長
千代倉委員

ありがとうございました。委員の皆様でご意見ご要望等ございますか。

博物館についてお伺いしたいのですが、10月ぐらいから県立美術館のほうから、金のすずで美術館の収蔵している作品とかを展示するという案内が来ました。それで私は生徒や保護者等に、こういう展示が行われますということでお知らせをしました。すると、後日バスに乗って何人かで行ったという報告をいただきました。金のすずで常設展ではなかなか難しいかもしれませんが、特別展等をやった時は、こういう会議ですとか、もしくはそれぞれ所管の部署で審議会とか持たれているので、そういう人たちに、こういうことをやりますという簡単なリーフレットみたいなものを作成し、市民に周知すればもう少し違うのではないかと思います。これは予算がかかることなので、あくまでも要望です。

先ほど公民館の方も情報発信が足りないというような意見があったのですが、博物館のPRをホームページに掲載していても、それは自発的に見に行かないと情報が見られません。紙での広報は、さほどその情報に対しての要望がなくても、自然と目に入ってきます。そういった面で、紙面での周知はやはり大切なと思いますので、いろいろ検討いただければと思います。金のすず単独では、予算取りが難しいかもしれませんので、文化課とタッグを組んでやっていただければと思います。

白石副議長
地曳委員

千代倉委員、ありがとうございました。地曳委員お願いします。

ちょっとお尋ねしたいのですが、文化課で金鈴塚についてパンフレットを作っていますよね。博物館ではなく、なぜ、文化課なのでしょう。パンフレットというか、漫画みたいな感じで、金鈴塚の方はどういう人であったとかそういう内容を、子供向けにイラストや漫画で書かれているのですが、私は非常に気になります。

木更津市にある金の鈴というのは、大きな太刀も含めて、少なくとも小学校中学生のうちに一度は見てもらいたい文化財の一つだと思っています。

学校の先生もこの場にいらっしゃるのですが、実際のところ、小中学生は、卒業するまでにどのぐらいの子供たちが、金のすず博物館や金鈴塚に行っているのでしょうか。木更津市には素晴らしい古墳があって、その中から金の鈴が出土しました。金鈴塚古墳は国内的にも、国際的にも非常に素晴らしいものなのだとすることを、自分の中で理解すると、先ほどから出ている郷土愛にも繋がる場所があると思います。

白石副議長

博物館、お願いします。

金のすず副館長

現在、博物館に来ているのは、小学校3年生です。昔は6年生も来ていたのですが、英語のカリキュラムが入ってから、もう校外学習を組むのが難しいということで、小学校3年生だけ来ています。ちなみに、富津と君津の小学校3年生も、ほぼ来ているので、そちらにも金鈴塚を宣伝しております。

地曳委員

ということはほとんどの小学生は、金鈴塚の金の鈴を見ているということですね。わかりました。ありがとうございました。

白石副議長

はい。他にございますか。

約1時間半にわたり、社会教育施設について語ることができました。本日いただいた意見、また協議内容については皆さん、教育委員会の中で参考にしていただければと思います。本当に貴重なご意見ありがとうございました。

それでは事務局より、(4)その他について説明をお願いします。

事務局

説明

白石副議長

ありがとうございました。予定時間を少し過ぎましたが、以上で協議を終了したいと思います。不慣れな司会でしたが、皆さんご協力ありがとうございました。これで、令和4年度木更津市社会教育委員会第3回定例会を終了いたします。ありがとうございました。